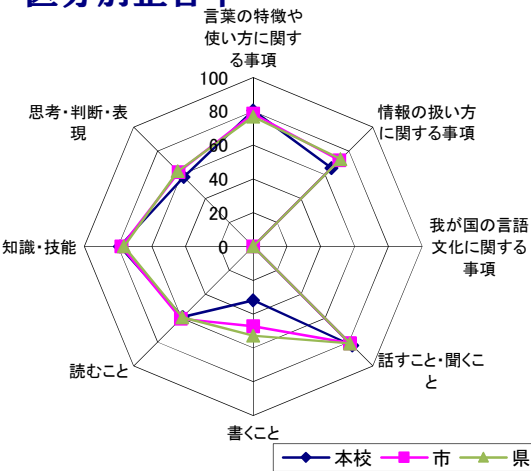


宇都宮市立瑞穂台小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	80.5	78.6	76.9
	情報の扱いに関する事項	65.7	72.2	73.1
	我が国の言語文化に関する事項	0.0	0.0	0.0
	話すこと・聞くこと	82.9	81.0	81.1
	書くこと	31.8	47.2	52.8
	読むこと	59.1	60.5	59.3
観点	知識・技能	79.0	78.0	76.5
	思考・判断・表現	58.2	62.3	63.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	正答率は市平均をやや上回る(+1.9ポイント)。 ○主語と述語の組み合わせに関する設問の正答率は70.0%で、市の平均を大きく上回っている(+6.4ポイント)。 ●絵を見て、台詞の空欄に適する指示する語を選ぶ設問の正答率は84.3%で、市の平均を大きく下回っている(-5.7ポイント)。	・説明文や物語文に使われるこそあど言葉を取り上げ、指示する役割があることを確認するとともに、こそあど言葉を適切に使えるよう、授業や生活の中で積極的に使用する機会を設けていく。
情報の扱いに関する事項	正答率は市平均を大きく下回る(-6.5ポイント)。 ●国語辞典に載っている順番として正しいものを選ぶ設問の正答率は65.7%で、市平均を大きく下回っている(-6.5ポイント)。	・国語の授業を中心に、国語辞典を活用する機会を増やす。 ・教室に国語辞典を置き、使うことに慣れさせる。
話すこと・聞くこと	正答率は市平均をやや上回る(+1.9ポイント)。 ○司会者の話し方の工夫を説明した文として適切なものを選ぶ設問の正答率は85.7%で、市平均を上回っている(+4.6ポイント)。司会者の話し合いの進め方についてよく理解ができていた。 ○話された意見について、自分の考えを理由を挙げながら書く設問の正答率は84.3%で、市平均を上回っている(+3.5ポイント)。理由を挙げて意見を述べるができる。	・発言の際に、根拠を述べながら自分の考えを表現することができるように指導していく。 ・国語以外の教科でも話し合い活動の際に、司会者として、参加者の話を理解し、話し合いを進め、自分の意見や考えをまとめることができるように指導する。
書くこと	正答率は市平均を大きく下回る(-15.4ポイント)。 ●自分の考えを明確にして文章を書くことを苦手とする児童が見られる。 ●自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことを苦手とする児童が見られる。	・自分の考えをしっかりともちその理由について表現する学習を継続して行い、自分の考えを明確に文章に書けるよう指導していく。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができるよう、国語を中心として指導を継続する。
読むこと	正答率は市平均をやや下回る(-1.4ポイント)。 ○叙述を基に文章の内容を捉える設問の正答率は72.9%で、市平均を大きく上回る(+8.8ポイント)。説明文の中の事例についての表現を想像することに良好な状況が見られる。 ●情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約することを苦手とする児童が見られる。	・説明文の中の中心となる語や文を見付けて要約することに慣れるよう、国語を中心として指導を継続する。